

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、また泉川水系においても、平成20年8月豪雨において宅地の浸水被害が発生していることから、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施し家屋浸水被害の解消を図る。



凡例

- 浸水範囲（基本方針規模1/30）
- 河川
- 流域境
- 市町村境

立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

氷見市立地適正化計画

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道掘削、堤防整備、橋梁架替 等【富山県】
 - ・森林整備・治山対策【富山県】
 - ・雨水貯留施設の整備（開発行為における調整池など）【開発事業者】等

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組【氷見市】（防災指針策定など） 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・高岡市・氷見市】
 - ・避難訓練への参加促進および住民参加【高岡市・氷見市・住民】
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・高岡市・氷見市】
 - ・水防災教育（出前講座の活用）、マイ・タイムラインの普及および作成【富山県・高岡市・氷見市・住民】
 - ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・高岡市・氷見市】
 - ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
 - ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】 等

水位計・監視カメラの活用
河川状況等ライブカメラ情報

県HPに掲載
リアルタイムでの情報発信

要配慮者利用施設避難確保計画作成及び支援

説明会の様子

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 泉川では、県、市、土地改良区が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】泉川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
 - 【中期】泉川下流部の堤防整備（JR橋梁部含む）を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
 - 【中長期】泉川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	泉川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替等	富山県 氷見市	河道掘削による早期対応		
	森林整備・治山対策	富山県	堤防整備による安全度向上		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	氷見市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 高岡市 氷見市	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■ 河川対策
全体事業費 15.2億円※
河道掘削、堤防整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進